

代表質問通告書一覧（9月21日）

| 質問者名 | 質問項目及び質問の要旨 | 答弁を求める 理事者 |
|--|---|--|
|  <p>(4 番) 山中 益敏 (公明党) 【一括質問】</p> | <p>1 通訳ガイドの育成と人材確保について</p> <p>本県における通訳ガイドの育成と人材確保に向けて、これまでどのように取り組んできたのか。また、今後の観光戦略において、奈良の魅力に惹かれるリピーターを増加させるため、通訳ガイドに求められる資質の確保と活用の仕組みづくりについて、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>2 待機児童の解消に向けた取組について</p> <p>待機児童の解消に有効な施策である企業主導型保育事業について、今後、県としてどのように取組を進めていくのか。また、保育士の確保・定着について、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>3 道路インフラの点検と老朽化対策について</p> <p>(1) 県が管理する橋梁・トンネル等、道路インフラの点検の進捗状況はどうか。また、その点検結果を今後の老朽化対策にどのように繋げていくのか。</p> <p>(2) 道路インフラの老朽化対策における、「奈良モデル」の具体的な取組について伺いたい。</p> <p>(3) I o Tを活用した道路インフラの維持管理について</p> | <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>【 要 望 】</p> |

一般質問通告書一覧（9月21日）

| 質問者名 | 質問項目及び質問の要旨 | 答弁を求める 理事者 |
|---|--|-------------------------------------|
|  <p>(28番) 乾 浩之 (自民党奈良) 【一括質問】</p> | <p>1 馬見丘陵公園のさらなる魅力向上への取組について</p> <p>(1) 特に高齢者や車椅子の方々など、園内移動が容易でない来園者を対象として、何らかの支援が必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 現状の馬見丘陵公園にはもっと多くの日よけ・休憩所が必要であり、さらには、夏涼しく冬暖かい、空調の効いた空間も必要と考えるが、知事の考えを伺いたい。</p> <p>(3) 住みよい地域づくりとともに県が目指している健康寿命日本一の目標達成のために、馬見丘陵公園をはじめとして、公園を活用した健康づくりのための取組が有効と考えるが、知事の考えを伺いたい。</p> <p>2 県立病院機構の経営改善について</p> <p>県立病院機構の平成28年度決算の状況と経営改善の取組について、どのように考えているのか。</p> <p>3 障がい者就労施設等への優先調達の拡大について</p> <p>今後さらに県内における障がい者の就労を拡大するため、障害者就労施設等への優先調達の拡大に向けて、どのように取り組もうと考えているのか。</p> | <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>健康福祉部長</p> |

| 質問者名 | 質問項目及び質問の要旨 | 答弁を求める 理事者 |
|--|--|--|
| <p>(28番) 乾 浩之 (自民党奈良)</p> | <p>4 子育てしやすい奈良県づくりについて</p> <p>「住んで良し、働いて良し」の奈良県を目指し、女性活躍推進にも積極的に取り組んでいる奈良県として、最近ニーズが高まっている放課後児童クラブのスタッフの育成・確保などについて積極的な支援が必要と考えるがどうか。</p> <p>5 上牧町内を流れる滝川の水辺空間整備について</p> <p>上牧町を南北に流れる滝川の水辺空間整備に関し、現在の検討状況と今後の見通しはどうか。</p> <p>6 広瀬川の河川改修について</p> <p>広瀬川の河川改修について、これまでの進捗状況と今後の見通しはどうか。</p> <p>7 広陵町と大和高田市の2市町にまたがる地域でのまちづくりの推進について</p> | <p>こども・女性 局 長</p> <p>県土マネジメント 部 長</p> <p>県土マネジメント 部 長</p> <p>【 要 望 】</p> |
|  <p>(42番) 今井 光子 (日本共産党) 【一括質問】</p> | <p>1 核兵器のない世界のために奈良県の果たす役割について</p> <p>(1) 「国際文化観光・平和県」を宣言した自治体の首長として、核兵器廃絶と恒久的な平和の実現に向け、国に対し核兵器禁止条約の締結を求めるべきと考えるが知事の所見を伺いたい。</p> <p>(2) 戦争の記憶を次世代に伝えていくためにも、奈良県として平和につながる取組を進めることが必要と考えるがどうか。</p> | <p>知 事</p> |

| 質問者名 | 質問項目及び質問の要旨 | 答弁を求める 理事者 |
|------------------------------------|---|--|
| <p>(42番) 今井 光子 (日本共産党)</p> | <p>2 奈良県の働き方改革について</p> <p>(1) 長時間労働の改善のためには、まず各人の労働時間の管理が必須であり、そのために出退勤システムによる出退勤時間の閲覧について、職員自ら確認し、時間管理できるようにすべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 長時間労働の改善に係る今年度の取組状況について伺いたい。</p> <p>3 国民健康保険の都道府県単位化について</p> <p>(1) 制度改正に伴って保険料負担が増加する市町村に対する一定の激変緩和措置について、国の財政支援の拡充分の財源を具体的にどのように活用しようと考えているのか。</p> <p>(2) 保険料負担がどのようになるのかを市町村に示すことを含め、2018年4月に向けて今後どのように進めようとしているのか。</p> <p>(3) 各市町村が独自に実施している保険料の減免制度は、県単位化後はどのようになるのか。</p> <p>4 子どもの医療の窓口負担無料化について</p> <p>中学校卒業までの子どもの医療費助成制度について、現物給付方式を導入するとともに、定額一部負担金もなくし、子どもの医療費の医療機関窓口での支払い無料化を実施すべきと考えるがどうか。</p> | <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>健康福祉部長</p> <p>健康福祉部長</p> |

| 質問者名 | 質問項目及び質問の要旨 | 答弁を求める 理事者 |
|---|---|-------------------------|
| <p>(42番) 今井 光子 (日本共産党)</p> | <p>5 県道天理王寺線について</p> <p>県道天理王寺線が、なぜ骨格幹線道路に位置づけられたのか、その背景や経緯について伺いたい。また、骨格幹線道路になったことにより、将来交通量の見直しが必要と考えるがどうか。</p> | <p>県土マネジメント 部 長</p> |
|  <p>(31番) 和田 恵治 (創生奈良) 【一括質問】</p> | <p>1 記紀・万葉を活用した中和地域の観光振興について</p> <p>記紀・万葉を活用した滞在型観光を推進していくため、体験型観光や記紀・万葉周遊ルートの設定など多種多様な記紀・万葉事業や、来訪者を満足させ何度も訪れてもらえるような、おもてなしの観光地となるための受入れ対策について、桜井市、橿原市、明日香村など中和地域の市町村とともに有機的に連携を図りながら取り組んでいくべきと考えるが、いかがか。また、2020年を区切りとされている記紀・万葉プロジェクトの、それ以降も含めた今後の展望を伺いたい。</p> <p>2 子どもの貧困問題について</p> <p>(1) 県内の子どもの貧困状態について、完全な調査方法がないという困難さがあるものの、工夫次第で推計できるのではないかと考えるが、県では、貧困状態の子どもの数を、どのように把握しているのか。</p> <p>(2) 子どもの貧困対策推進法や生活困窮者自立支援法が施行されたが、県では、子どもの貧困対策に関する具体的な取組について、どのように進捗しているのか。また、県は今後の子どもの貧困対策について、どのように考えているのか。</p> | <p>知 事</p> <p>知 事</p> |

| 質問者名 | 質問項目及び質問の要旨 | 答弁を求める 理事者 |
|-----------------------------------|--|-----------------------|
| <p>(31番) 和田 恵治 (創生奈良)</p> | <p>(3) 県は子どもの貧困対策の一環として、民間団体などで取り組まれた「こども食堂」を県内に広げようと、本年度から補助金制度を設けて県内での普及拡大に取り組まれているが、この取組の意義と現状、および課題について伺いたい。</p> <p>3 脱原発に向けた奈良県の取組について</p> <p>(1) 脱原発の方針を掲げ、県内の電力を再生可能エネルギーで賄う決意を示したエネルギー条例を制定してはどうか。</p> <p>(2) 災害対策のため、避難所や学校など公共施設に再生可能エネルギーを確保する設備の普及促進を図る必要があると思うがどうか。</p> <p>(3) 電力の消費に伴う県外資金流出を防ぎ、新エネルギー産業を興し、雇用を生む「地産地消」のエネルギー政策はどのように取り組んでいるのか。また、電力を小売りする新電力事業会社の設立に地方自治体も積極的に参加することを検討してはどうか。</p> <p>(4) 原発銀座といわれる敦賀市と本県の北部自治体との間で広域避難に関する協定が締結されたが、放射能の除染や避難生活も含め、避難者の受入についてどのように考えているのか伺いたい。</p> <p>4 大和牛の奨励と畜産業の振興について</p> <p>(1) 現在の大和牛の生産の実情を踏まえ、ブランド力の向上と生産基盤を強化するためにどのような支援策を考えているのか。また併せて、みつえ高原牧場の活用についても伺いたい。</p> | <p>知 事</p> <p>知 事</p> |

| 質問者名 | 質問項目及び質問の要旨 | 答弁を求める 理事者 |
|-----------------------------------|--|---------------|
| <p>(31番) 和田 恵治 (創生奈良)</p> | <p>(2) 安全安心な食肉を提供するためには、食肉センターの衛生管理の充実が重要である。現在、食肉センターでは、食品の安全・衛生管理の手法であるHACCPの認証取得に向けて取り組まれているが、早期取得に向け、設備改修なども含め、今後どのように進めようとしているのか。</p> | |